

# 環境活動レポート

## 第71期

(2018年10月1日～2019年9月30日)

発行 2020年2月26日

改訂 2020年3月9日

快適なオフィスシステムと豊かな教育環境の創造に貢献いたします



株式会社 小林文英堂

〒945-0066 新潟県柏崎市西本町2-2-11  
TEL0257-24-3360 FAX0257-24-3363  
✉ info@buneido.co.jp <http://www.buneido.co.jp>

# 1. 環境方針

株式会社小林文英堂

## 環境方針

### <環境理念>

株式会社小林文英堂は、文具、事務機器、OA機器、教育機器の販売を行う企業として、地域及び地球環境に与える影響に配慮し、環境問題に積極的に取り組み、持続可能な循環型社会を目指し以下の項目を継続的に取り組んでいくことを誓約します。

### <環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
  - ①二酸化炭素排出量の削減  
電力の消費や業務車両の燃料消費などに伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ②廃棄物排出量の削減  
廃棄物排出量の削減とリサイクル率の向上に努めます。
  - ③総排水量の削減  
節水に努めます。
  - ④グリーン購入の推進  
事務用品のグリーン購入（できる限り環境への負担が少ないものを優先的に購入すること）に努めます。
  - ⑤包装資材の使用量削減  
お客様に呼び掛けて、レジ袋、紙袋等包装資材の削減に努めます。
2. 環境関連法規制等を遵守します。
3. この環境方針は全従業員に周知します。環境への取組は環境活動レポートとしてとりまとめ、公表します。

制定日：2009年10月28日

改訂日：2011年 4月 9日

代表取締役

小林 英介

## 2. 組織の概要

### ①事業者名及び代表者氏名

株式会社小林文英堂  
代表取締役 小林英介

### ②所在地

本社 〒945-0066 新潟県柏崎市西本町2丁目2番11号

### ③環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 矢代和宏  
担当者 同上  
連絡先 TEL:0257-24-3360  
FAX:0257-24-3363

### ④事業活動の内容

文具、事務機器、OA機器、教育機器の販売  
ファイリングコンサルタント業務

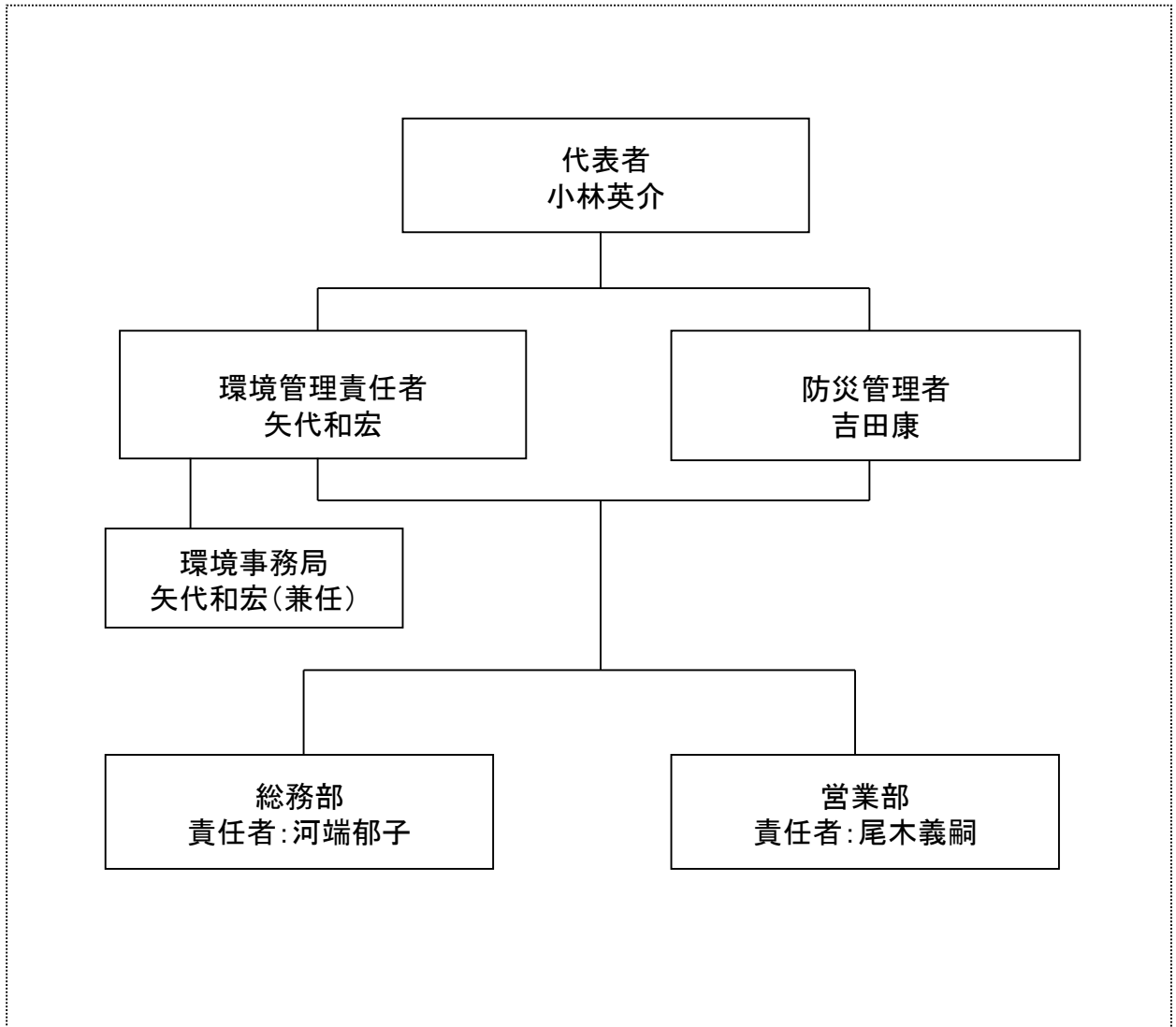
### ⑤事業の規模

従業員数 9名(2019年9月現在)  
延べ床面積  
事務所及び店舗 326㎡  
倉庫 156㎡

### 3. 対象範囲及び組織図

#### 認証・登録の適用範囲

全組織及び全活動



## 4. 環境目標

環境方針	環境目標	単位	62期	70期	71期	72期	
			(基準年度)	(目標)	(目標)	(目標)	
二酸化炭素排出量の削減	1	62期を基準として、72期末までに、二酸化炭素排出量を22%削減する	kg-CO <sub>2</sub>	31,642	25,314	24,997	24,681
				20%削減	21%削減	22%削減	
	2	化石燃料使用量の削減について、62期を基準として、72期末までに燃費を44%向上する	km/L	12.6	17.8	18.0	18.1
				42%向上	43%向上	44%向上	
廃棄物排出量の削減	3	62期を基準として、72期末までに、一般廃棄物排出量を46%削減する	t	5.64	3.16	3.10	3.05
				44%削減	45%削減	46%削減	
	4	62期を基準として、産業廃棄物のリサイクル率95%を維持する。	%	45	95	95	95
				50%向上	50%向上	50%向上	
総排水量の削減	5	70期を基準として、72期末までに、水道水使用料量を2%削減する。	m <sup>3</sup>	(70期) 80	80	79	78
					1%削減	2%削減	
グリーン購入の推進	6	62期を基準として、72期末までに、事務用品の環境配慮品購入率92%を達成する	%	53	90	91	92
				34%向上	35%向上	36%向上	
包装資材の使用量削減	7	63期を基準として、72期までに、包装資材の使用量を15%削減する	kg	(63期) 32.0	27.8	27.5	27.2
				13%削減	14%削減	15%削減	

※購入電力の二酸化炭素排出係数は平成28年度東北電力(株)調整後排出係数を使用。0.548(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

※環境に負荷を与える化学物質は取り扱いがないため、目標には設定しない。

## 5. 環境活動の実績と評価

### ①環境活動の結果

	環境目標	取組内容	目標 71期	実績 71期	判定
1	二酸化炭素排出量の削減	(電気) ・省エネ目標説明会の実施 ・昼の不要照明の消灯 ・ウォームビズ・クールビズ運動の推進 ・暖房20℃、冷房28℃の徹底	24,997 (Kg-CO2)	19,296 (Kg-CO2)  (達成率) 129.5%	○
2	業務車両の燃費向上	(化石燃料) ・目標説明会の実施 ・エコドライブの推進 ・タイヤの空気圧の適正化	18.0(km/ℓ)	18.1 (Km/ℓ)  (達成率) 100.6%	○
3	一般廃棄物排出量の削減	・分別説明会の実施 ・分別の徹底 ・裏紙使用の徹底	3.10 (t)	2.94 (t)  (達成率) 105.4%	○
4	産業廃棄物のリサイクル率維持	・廃棄手順説明会の実施 ・分別の徹底による排出量の削減とリサイクル率の維持	95.0 (%)	99.0 (%)  (達成率) 104.2%	○
5	水道水使用量の削減	・目標説明会の実施 ・節水ポスターの掲示 ・水道水の出し過ぎ禁止	79 (m <sup>3</sup> )	79 (m <sup>3</sup> )  (達成率) 100.0%	○
6	事務用品のグリーン購入率の向上	・グリーン購入説明会の実施 ・エコ事務用品の情報収集 ・エコ事務用品の購入推進	91 (%)	94 (%)  (達成率) 104.4%	○
7	包装資材の使用量削減	お客様に無包装をお勧めする	27.5 (Kg)	27.3 (Kg)  (達成率) 100.7%	○

※購入電力の二酸化炭素排出係数は平成28年度東北電力(株)調整後排出係数を使用。0.548(kg-CO2/kWh)

## ②環境目標・環境活動計画の結果と評価、次年度の取組内容

### 1) 二酸化炭素排出量の削減 **達成**

(結果と評価)

今期も継続してウォームビズ・クールビズの実施による室温調節、不要灯の消灯、OA機器の待機電源のカットを実施した。電気の使用量は年間で18,232kw、ガソリン及び軽油の使用量はエコドライブの実践により3,943.2ℓ。目標より5,701kgと大幅に二酸化炭素を削減できた。

(次年度の取組内容)

節電、エコドライブの活動は継続して行う。

OA機器の入替がある場合はTEC値、燃費等を考慮して選定を行う。

### 2) 業務車両の燃費向上 **達成**

(結果と評価)

継続してのエコドライブ実践が効果的であった。社用車の入れ替えがありAT車を導入したため、多少の燃費悪化が見込まれたものの、累計走行距離72,316kmに対して、燃料の消費量は3987.2ℓと押さえられ、18.1Km/ℓの燃費を達成できた。

(次年度の取組内容)

エコドライブの実践と定期的な車両点検を継続して行い、燃費の向上を図る。

### 3) 一般廃棄物排出量の削減 **達成**

(結果と評価)

全社を挙げて紙での出力の削減に努め、裏紙での再利用も徹底した。目標3,102kgに対して、2,944kgと目標を達成することができた。

(次年度の取組内容)

来期も紙類の廃棄量減少が課題である。裏紙使用、段ボールの再使用など廃棄の減量に努める。

### 4) 産業廃棄物のリサイクル率の維持 **達成**

(結果と評価)

金属類とプラスチック類の分別廃棄の徹底により、リサイクル率99%を達成することができた。

(次年度の取組内容)

今期は状態の良い木くずが多く、リサイクルに回せたこと。ガラスくずの廃棄が少なかったことが高いリサイクル率の要因である。金属やプラスチックの分別廃棄は問題なく順調であった。

5) 水道水使用量の削減 **達成**

(結果と評価)

今期は目標を見直し、現実的な数値を設定した。トイレのタンクの水量調節を行うなど節水に取り組み、目標を達成した。

(次年度の取組内容)

来期も水道の出しすぎ、閉め忘れなど日常的な節約を続けていく。

6) 事務用品のグリーン購入率の向上 **達成**

(結果と評価)

前期より引き続き、定番として日常的に使用している事務用品をエコ商品に切り替えている。目標通りの結果が得られた。

(次年度の取組内容)

来期も引き続き定番のエコ商品への切り替えを進めていく。

7) 包装資材の使用量削減 **達成**

(結果と評価)

継続して包装資材の見直しを進めている。その結果目標通りの結果を得ることができた。

(次年度の取組内容)

来期はレジ袋の有料化も予定されている。法令を遵守しながら取り組みを継続する。



## 6. 環境関連法規等の遵守状況

### ①環境関連法規等の確認

法規名	内容	確認
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬・処理業者の契約・許可証の確認(写し保存)</li> <li>・保管場所への掲示板(60cm角以上)の表示</li> <li>・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付・保管</li> <li>・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出</li> <li>・自社による運搬時の表示、書類携行</li> </ul>	○
容器リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装の削減と回収</li> <li>・再商品化委託契約と委託金の支払い</li> </ul>	○
資源有効利用促進法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの引取及びメーカーへの引渡し</li> </ul>	○
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ・冷蔵庫・洗濯機の引取及び家電小売業者への引渡し</li> </ul>	○
特定化学物質の排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PRTR制度に規定された指定化学物質の取扱い有無の確認と管理</li> <li>・SDS制度に規定された指定化学物質などの取扱い有無の確認と管理</li> </ul>	○
新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理委託先で適正な処理が行われているかを確認</li> </ul>	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水設備の設置</li> <li>・排水設備の維持。配水管が詰まっていないかを確認</li> </ul>	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務用エアコンの簡易点検</li> </ul>	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火器の設置、点検</li> </ul>	○
火薬類取締法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ雷管の保管量の点検</li> </ul>	○

### ②環境関連法規等の評価並びに結果

・上記項目につき自主点検を行った結果、違反がないことを確認しました。

### ③違反、訴訟等の有無

・当社は過去3年間において、関係当局より違反の指摘はありませんでした。また訴訟もありませんでした。

## 7. 代表者による評価と見直し

### ①評価

全体の評価	環境経営マニュアルに沿った適切な活動を行っている。
-------	---------------------------

### ②見直しと指示

変更の必要性	環境方針	環境経営方針への切替をすること。
	環境目標	環境経営目標への切替及び目標設定の精査をすること。
	環境活動計画	環境経営計画への切替をすること。計画の妥当性は常に検証すること。
	実施体制	変更なし。

## 8. 環境経営目標・環境経営計画の次年度取組内容

- ・今期の結果を踏まえて来期の環境経営目標を精査し、設定する。
- ・取組内容は今期のものを継続する。ただし必要に応じて修正する。
- ・柏崎市が主導するECO2プロジェクトの環境活動には引き続き積極的に参加する。